



犯罪の被害者を
なくしたい！



生活安全総務課 防犯環境対策係
平成22年採用 巡査長
玄界高等学校 卒業

警察官になったきっかけは？

幼い頃から、警察官として働く父の姿を見てきて、「困っている人を助けられるような仕事に就きたい」と漠然と思うようになりました。そして少しでも、犯罪の被害に遭った方や交通事故に遭った方の力になりたいと思い、警察官を目指しました。事件や事故の被害者のそばで直接役に立てる特別な仕事は、警察官だけだと思っています。

現在の仕事について教えてください！

現在私は、県民の身近で発生する犯罪を抑止するために様々な広報啓発活動を行っています。どのようにすれば県民の皆さんに「防犯意識」の大切さを伝えることができるのかを考え、ポスターやチラシなどを作成しています。また、防犯アプリ「みまもっち」の製作にも携わりました。自分が作成した啓発物を県内の様々なところで目にしたり、キャンペーン等で「防犯アプリ使ってます。」という声を聞くと、自分の仕事が県民の役に立っていることを実感し、やりがいを感じます。

休日の過ごし方は？

休日は趣味である映画鑑賞やミュージカル鑑賞に行ったり、好きなアーティストのライブのために旅行を兼ねて遠出をすることもあります。

また、結婚して家を建てたばかりなので、庭の手入れをしたり花を育てたりもしています。

警察学校の生活はどうか？

警察学校では、法学や警察実務の勉強はもちろん、犯人逮捕に必要な柔剣道や逮捕術などの術科訓練もあるため、精神的にも体力的にも辛かったです。

しかし、それを一緒に乗り越えていく仲間が必ずできます。一緒の目標に向かって切磋琢磨する同期生との特別な絆。これは警察官にしか体験できないものだと思います。卒業後に仕事で悩んだとき、一番頼れるのは警察学校で苦楽を共にした同期です。

警察官をめざす方にメッセージをお願いします。

「警察官になりたいけど体力に自信がない」「やっていけるか不安」と思っている方もいると思います。私もその一人でした。警察官という仕事は肉体的、精神的に強い人が目指すというイメージがあるかもしれませんが、女性ならではの視点や気配りが求められる場面もあります。

あきらめずに、ぜひ挑戦してください！